

# 平成28年3月期 決算説明会

平成28年5月16日

株式会社 藤商事



東証JASDAQ上場

証券コード 6257

1. 平成28年3月期 決算概要	P.2
2. 当社の取り組みと今後の課題	P.9
3. パチンコ・パチスロ市場の見通し	P.15
4. 平成29年3月期 通期業績計画	P.18
参考資料	P.25

# 1. 平成28年3月期 決算概要

# 決算ハイライト① 平成28年3月期 発売機種 (新規タイトル)



## パチンコ遊技機



©地獄少女プロジェクト/三鼎製作委員会

**CR地獄少女 弐(ツ)**  
(平成27年4月発売)



©SPT/As

**CRクリスタル&ドラゴン**  
(平成27年5月発売)



©1999野々尾司 発行:株式会社KADOKAWA 角川書店  
©1998「リング」[らせん]製作委員会

**CRリング 呪い再び**  
(平成27年6月発売)



©2004「着信アリ」製作委員会  
©2003秋元康 発行:株式会社KADOKAWA 角川書店

**CR着信アリ**  
(平成27年8月発売)



©真島ヒロ/講談社

**CR RAVE**  
~この世界こそが真実だ~  
(平成27年10月発売)



原作「怒み屋本舗シリーズ」黒原正高(集英社「Grandジャンプ」)

**CR怒み屋本舗**  
(平成27年11月発売)



©藤商事

**CREキサイト**  
(平成27年11月発売)



©地獄少女プロジェクト/三鼎製作委員会

**CR 地獄少女 弐  
きくりの地獄祭り**  
(平成28年1月発売)



©Basso/©SPT

**CRA ヘルプ!!!**  
恋が丘学園 おたすけ部  
(平成28年2月発売)



©あざの耕平・すみ兵/株式会社KADOKAWA 富士見書房/  
東京レイヴンズ製作委員会

**CR東京レイヴンズ**  
(平成28年3月発売)

## パチスロ遊技機



©地獄少女プロジェクト/スカパーウェルシンク・アニプレックス  
©地獄少女プロジェクト/三鼎製作委員会

**パチスロ 地獄少女**  
(平成27年9月発売)



©2011 赤松中学・株式会社 KADOKAWA メディアファクトリー刊/東京武蔵高校

**パチスロ 緋弾のアリア**  
(平成28年1月 発売)

# 決算ハイライト② 販売台数



(販売台数は百台未満切捨て)

販売台数	平成27年3月期		平成28年3月期		対前年同期比
		構成比		構成比	
パチンコ遊技機	115,300台	72.3%	92,400台	83.3%	△22,900台
パチスロ遊技機	44,100台	27.7%	18,400台	16.7%	△25,600台
計	159,500台	100.0%	110,800台	100.0%	△48,600台

平成28年3月期 パチンコ販売台数			
CR地獄少女 弐(ツー)	23,100台	CRエキサイト	3,800台
CRクリスタル&ドラゴン	4,100台	CR地獄少女 きくりの地獄祭り	8,000台
CRリング 呪い再び	12,800台	CRA ヘルプ!!! 恋が丘学園 おたすけ部	5,300台
CR着信アリ	10,900台	CR東京レイヴンズ	2,000台
CR RAVE ~この世界こそが真実だ~	6,100台	その他	11,200台
CR怨み屋本舗	4,600台		

平成28年3月期 パチスロ販売台数			
パチスロ 地獄少女	10,000台	パチスロ 緋弾のエリア	8,400台

# 決算ハイライト③ 損益計算書



(単位:百万円)

	平成27年3月期		平成28年3月期		構成比増減	備考
	金額	構成比	金額	構成比		
<b>売上高</b>	<b>56,151</b>	<b>100.0%</b>	<b>38,166</b>	<b>100.0%</b>	—	◆売上高・各利益の減少 販売台数の減少
売上原価	30,256	53.9%	19,622	51.4%	△ 2.5pt	
売上総利益	25,895	46.1%	18,543	48.6%	+2.5pt	
販管費	17,958	32.0%	16,508	43.3%	+11.3pt	
<b>営業利益</b>	<b>7,936</b>	<b>14.1%</b>	<b>2,035</b>	<b>5.3%</b>	<b>△ 8.8pt</b>	◆ROE 前期末 9.8% 当期末 2.4%
営業外収益	122	0.2%	152	0.4%	+0.2pt	
営業外費用	109	0.2%	134	0.4%	+0.2pt	
<b>経常利益</b>	<b>7,949</b>	<b>14.2%</b>	<b>2,052</b>	<b>5.4%</b>	<b>△ 8.8pt</b>	
特別利益	—	—%	8	0.0%	+0.0pt	
特別損失	4	0.0%	8	0.0%	+0.0pt	
<b>税引前当期純利益</b>	<b>7,945</b>	<b>14.1%</b>	<b>2,052</b>	<b>5.4%</b>	<b>△ 8.8pt</b>	
法人税等	3,132	5.6%	815	2.1%	△ 3.4pt	
<b>当期純利益</b>	<b>4,812</b>	<b>8.6%</b>	<b>1,237</b>	<b>3.2%</b>	<b>△ 5.3pt</b>	

# 決算ハイライト④ 貸借対照表



(単位:百万円)

	平成27年3月期末		平成28年3月期末		金額増減	備考												
	金額	構成比	金額	構成比														
<b>流動資産</b>	49,490	76.5%	42,635	71.3%	△6,854	<b>◆流動資産</b> <table border="0"> <tr> <td></td> <td>前期末</td> <td>当期末</td> </tr> <tr> <td>現金及び預金</td> <td>34,039</td> <td>26,189</td> </tr> <tr> <td>有価証券</td> <td>504</td> <td>600</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>34,544</td> <td>26,789</td> </tr> </table>		前期末	当期末	現金及び預金	34,039	26,189	有価証券	504	600	計	34,544	26,789
	前期末	当期末																
現金及び預金	34,039	26,189																
有価証券	504	600																
計	34,544	26,789																
現金及び預金・有価証券	34,544	53.4%	26,789	44.8%	△7,754													
商品及び製品	64	0.1%	459	0.8%	+395													
売上債権	5,108	7.9%	4,842	8.1%	△265													
その他	9,773	15.1%	10,543	17.6%	+769													
<b>固定資産</b>	15,203	23.5%	17,145	28.7%	+1,941	<table border="0"> <tr> <td></td> <td>前期末</td> <td>当期末</td> </tr> <tr> <td>流動比率</td> <td>413%</td> <td>550%</td> </tr> <tr> <td>当座比率</td> <td>331%</td> <td>408%</td> </tr> </table>		前期末	当期末	流動比率	413%	550%	当座比率	331%	408%			
	前期末	当期末																
流動比率	413%	550%																
当座比率	331%	408%																
有形固定資産	6,475	10.0%	6,973	11.7%	+497													
その他	8,727	13.5%	10,172	17.0%	+1,444													
<b>資産合計</b>	64,694	100.0%	59,781	100.0%	△4,913													
<b>流動負債</b>	11,975	18.5%	7,752	13.0%	△4,223	<b>◆流動負債</b> その他(未払法人税等)の減少												
仕入債務	5,715	8.8%	5,417	9.1%	△297													
その他	6,260	9.7%	2,334	3.9%	△3,925													
<b>固定負債</b>	1,620	2.5%	1,335	2.2%	△285													
<b>負債合計</b>	13,596	21.0%	9,087	15.2%	△4,508													
<b>純資産合計</b>	51,098	79.0%	50,693	84.8%	△405													

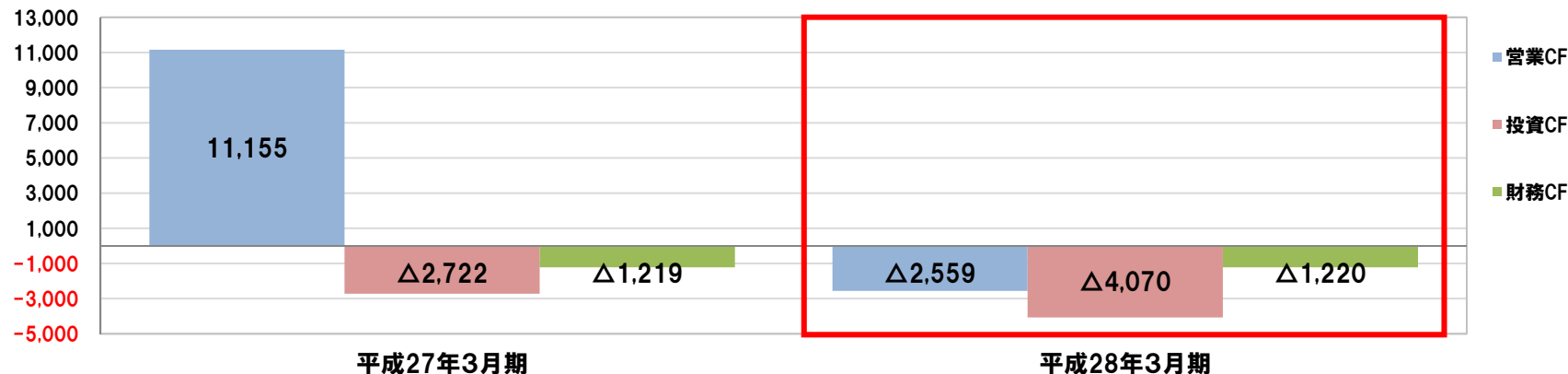
# 決算ハイライト⑤ キャッシュ・フロー計算書



(単位：百万円)

	平成27年3月期	平成28年3月期	平成28年3月期の内訳	
営業活動による キャッシュ・フロー	11,155	△ 2,559	増加要因:	税引前当期純利益 2,052百万円 減価償却費 2,496百万円
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 2,722	△ 4,070	減少要因:	法人税等の支払 4,637百万円 長期前払費用の増加 1,206百万円 未払金の減少 889百万円
フリー キャッシュ・フロー	8,432	△ 6,629	増加要因:	有価証券の償還 600百万円
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 1,219	△ 1,220	減少要因:	有形固定資産の取得 3,269百万円 投資有価証券の取得 1,441百万円
現金及び現金同等物の 増減額	7,212	△ 7,850	主要要因:	営業キャッシュ・フローの増加
現金及び現金同等物の 期首残高	26,425	33,638	減少要因:	配当金の支払い 1,220百万円
現金及び現金同等物の 期末残高	33,638	25,788	自己資本比率	前期 79.0% 当期 84.8%

(単位：百万円)



# 決算ハイライト⑥ 通期業績修正について



(単位：百万円、販売台数は百台未満切捨て)

	平成27年5月8日 公表（当初計画）		平成28年4月22日 公表（業績修正）		平成28年5月13日 公表（実績）		備 考
パチンコ遊技機	150,000台		92,000台		92,400台		◆計画販売台数の減少 型式試験の状況等により、 第4四半期に投入予定であった 主力タイトル2機種が投入できず 投入機種を変更。投入の変更に より販売した2機種が計画して いた販売台数に至らず。
パチスロ遊技機	10,000台		18,000台		18,400台		
売上高	48,600	100.0%	38,100	100.0%	38,166	100.0%	◆売上高・各利益の減少 販売台数の減少に伴い減少
営業利益	6,500	13.4%	2,000	5.2%	2,035	5.3%	
経常利益	6,500	13.4%	2,100	5.5%	2,052	5.4%	
当期純利益	4,000	8.2%	1,200	3.1%	1,237	3.2%	
1株当たり 当期純利益	163.96円	—	49.19円	—	50.71円	—	

## 2. 当社の取り組みと今後の課題

## 『稼働力の追求・利益体質の強化』 ～知恵と工夫～

### 1. 稼働力の追求

- (1) ホラーに次ぐ新たなジャンルの確立
- (2) 独自性の追求

### 2. 利益体質の強化

- (1) 販売計画の着実な達成
- (2) ムリ・ムダ・ムラを排除する体制作り

# 平成28年3月期の課題に対する達成状況



## 課題1 稼働力の追求

平成28年3月期 発売機種種の稼働状況

	機種名	課題に対する取り組み
稼働中	CRA ヘルプ!!! 恋が丘学園 おたすけ部	<p>(1) ホラーに次ぐ新たなジャンルの確立                      &lt;結果&gt;                      「CR地獄少女 弐(ツー)」ならびに「CR地獄少女 弐 きくりの地獄祭り」が、ファン層からの支持を受け良好に稼働。ホラーに次ぐ新たなジャンルとして、次回作の開発を推進予定。</p> <p>(2) 独自性の追求                      &lt;結果&gt;                      若年層に親しまれているソーシャルゲームの演出をパチンコに採用する試みを推進。第一弾の「CRクリスタル&amp;ドラゴン」は、良好に稼働。第二弾の「CRA ヘルプ!!! 恋が丘学園 おたすけ部」も現在稼働中。今後とも、独自性を追求した遊技機を投入予定。</p>
	CR東京レイヴンズ	
達成	CR地獄少女 弐(ツー)	
	CRクリスタル&ドラゴン	
	CR RAVE~この世界こそが真実だ~	
	CRエキサイト	
	CR地獄少女 弐 きくりの地獄祭り	
未達成	CRリング 呪い再び	
	CR着信アリ	
	CR怨み屋本舗	
	パチスロ 地獄少女	
	パチスロ 緋弾のエリア	

パチンコ遊技機     パチスロ遊技機

## 課題2 利益体質の強化

### (1) 販売計画の着実な達成

#### <結果>

- ・平成28年3月期 累計期間は、販売計画未達成により各利益減少。
- ・今後は、得意ジャンルや新たなジャンルの遊技機を投入し、販売台数の確保に努める。

### (2) ムリ・ムダ・ムラを排除する体制作り

#### <結果>

- ・リユース品目の増加や、部材の共通化を図りコストを削減。
- ・今後も、リユースやリサイクルに関する取り組みを継続し、利益体質の強化を推進。

## 『稼働力の追求・利益体質の強化』 ～変わる挑戦～

### 1. 稼働力の追求

- (1) 新規タイトルの育成や新たなスペックに挑戦
- (2) 独自性の追求

### 2. 利益体質の強化

- (1) 販売計画の着実な達成
- (2) ムリ・ムダ・ムラを排除する体制作り

## 取り組みの狙い

パチンコ遊技機ならびにパチスロ遊技機に関する事業との  
シナジー効果を狙い推進

<参考> 今年3月 『マギアコネクト』 配信



## 3. パチンコ・パチスロ市場の見通し

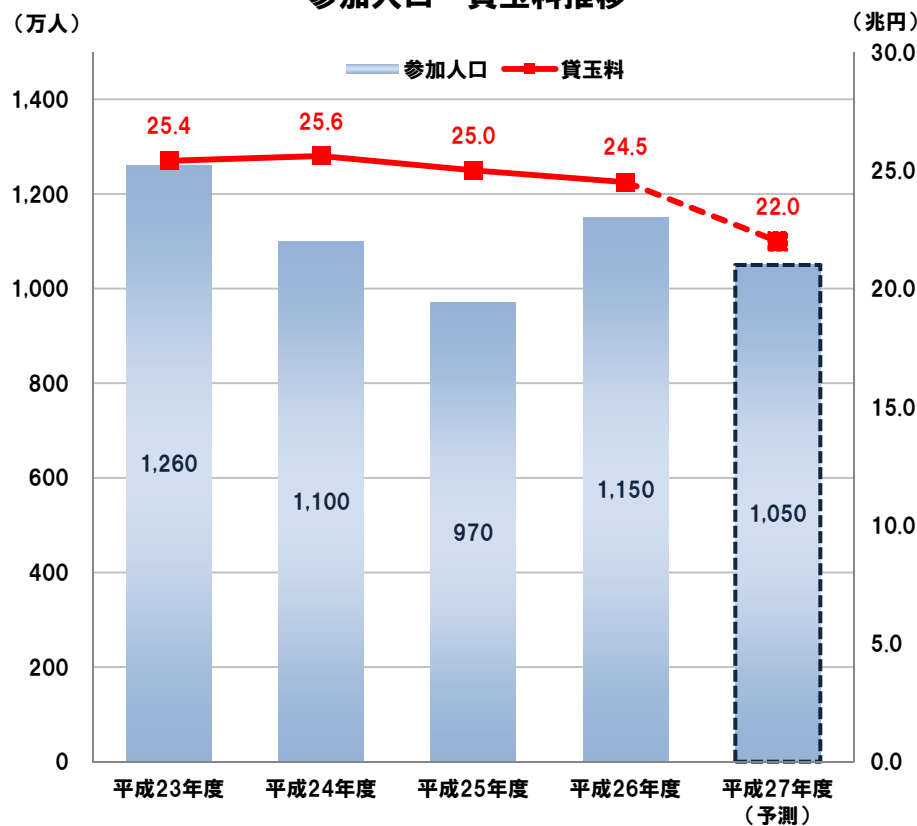
# パチンコ・パチスロ市場の推移



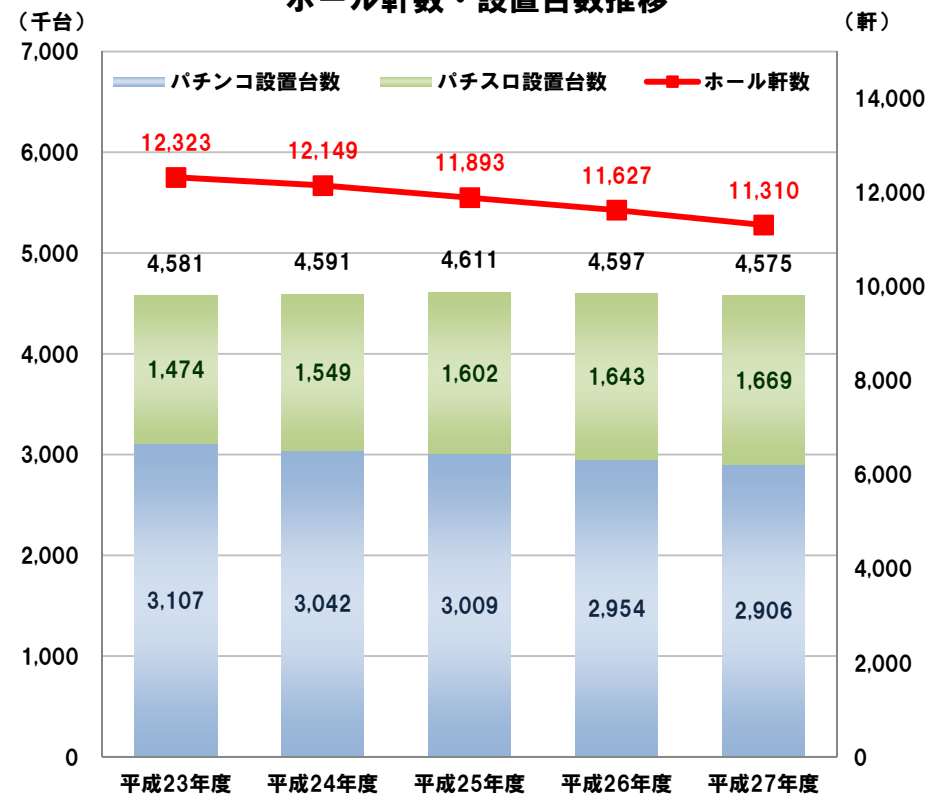
項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
参加人口 (万人)	1,260	1,100	970	1,150	1,050 (当社予測)
貸玉料 (兆円)	25.4	25.6	25.0	24.5	22.0 (当社予測)

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
ホール軒数(軒)	12,323	12,149	11,893	11,627	11,310	
設置台数 (千台)	パチンコ	3,107	3,042	3,009	2,954	2,906
	パチスロ	1,474	1,549	1,602	1,643	1,669

参加人口・貸玉料推移

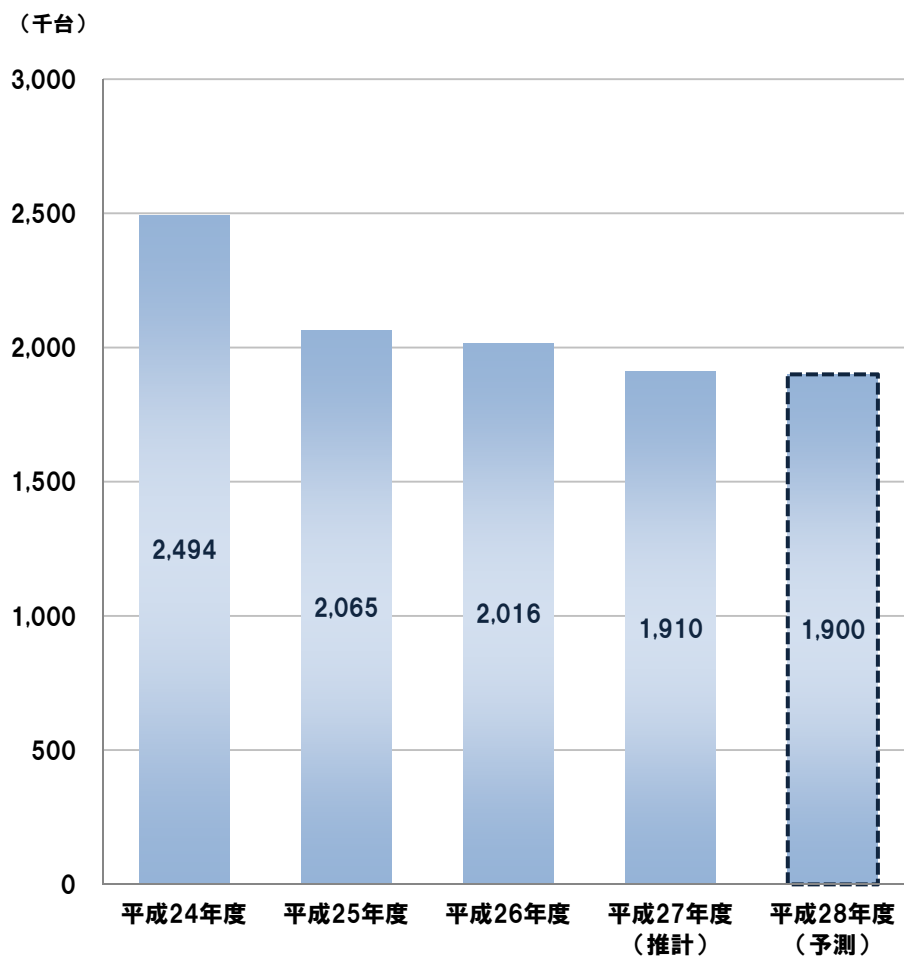


ホール軒数・設置台数推移

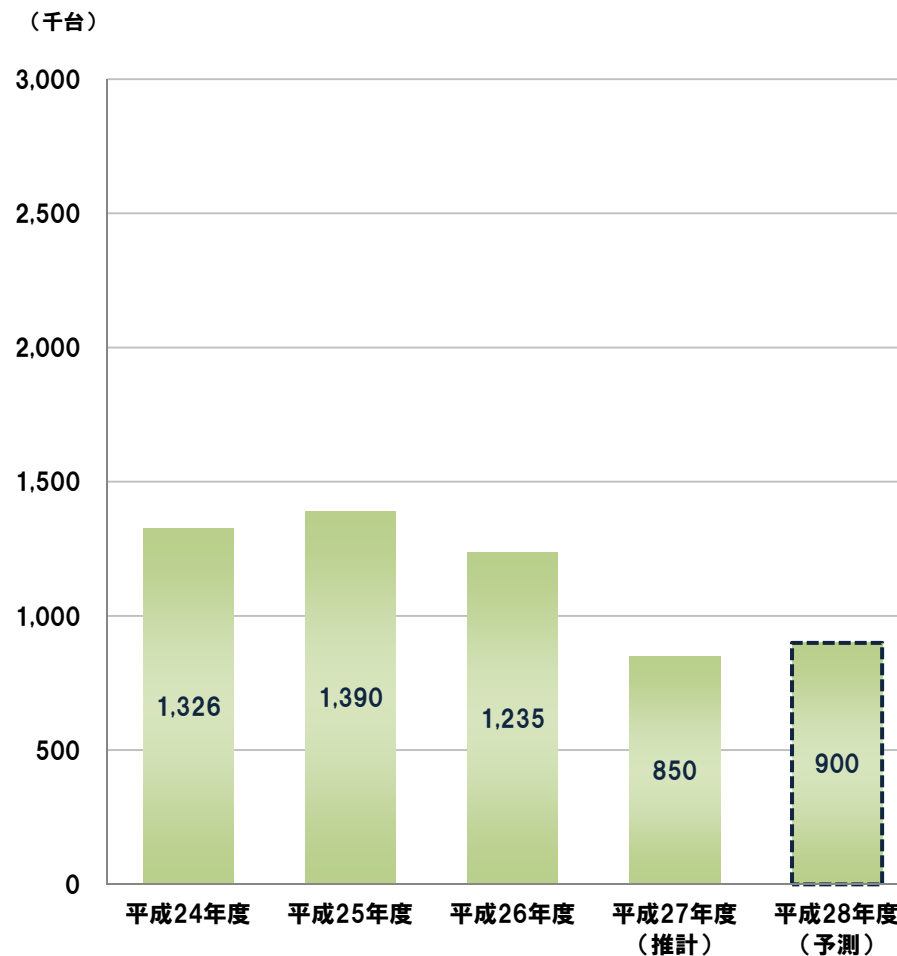


出所：警察庁（ホール軒数・設置台数）・日本生産性本部『レジャー白書』（参加人口・貸玉料）

## パチンコ遊技機の世界販売台数



## パチスロ遊技機の世界販売台数



データ出所：株式会社経済研究所「2015年版 パチンコ関連メーカーの動向とマーケットシェア」より平成24年度～26年度の実績値 ※平成27年度・28年度は当社推計値・予測値

## 4. 平成29年3月期 通期業績計画

## パチンコ遊技機

発売予定新機種数 8機種 販売計画台数 130,000台

- ホラージャンルのパチンコ遊技機を市場投入
- 新たなジャンルの遊技機を市場投入

## パチスロ遊技機

発売予定新機種数 2機種 販売計画台数 20,000台

- パチンコ遊技機で投入したコンテンツをパチスロ遊技機に採用
- 世界各国で同時発売されたゲームコンテンツをパチスロ化

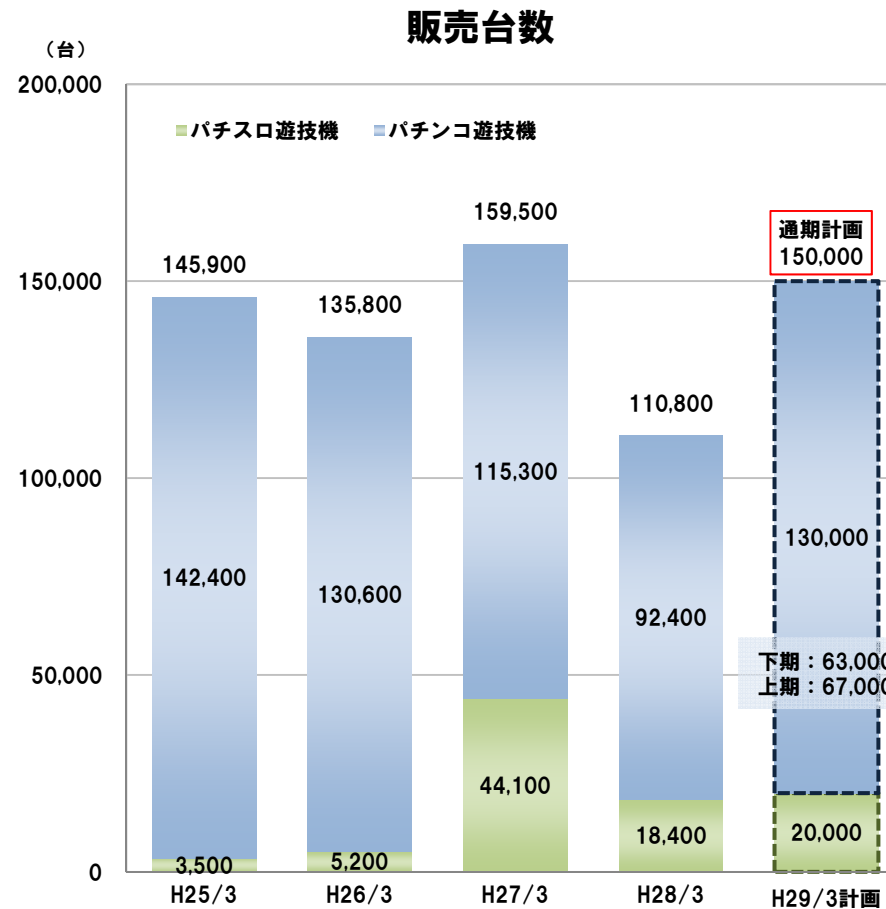
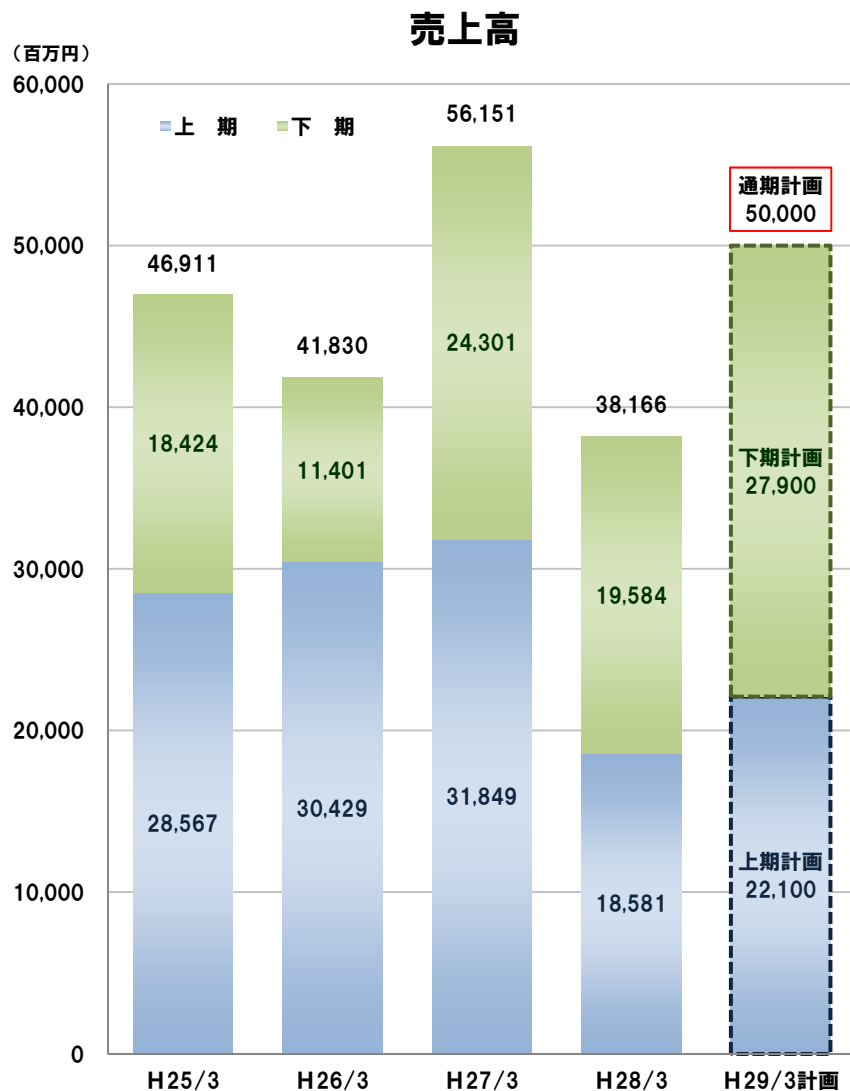
# 平成29年3月期 通期業績計画



(単位：百万円、販売台数は百台未満切捨て)

項目	平成28年3月期 実績		平成29年3月期 計画		対前期比 増減
発売機種数・販売台数 (新規タイトル)	12機種	110,800台	10機種	150,000台	+39,100台
パチンコ	10機種	92,400台	8機種	130,000台	+37,500台
パチスロ	2機種	18,400台	2機種	20,000台	+1,500台
売上高	38,166	100.0%	50,000	100.0%	+11,833
営業利益	2,035	5.3%	5,000	10.0%	+2,964
経常利益	2,052	5.4%	5,000	10.0%	+2,947
当期純利益	1,237	3.2%	3,300	6.6%	+2,062
1株当たり当期純利益	50.71円		135.27円		+84.56円
1株当たり配当金	50.00円		50.00円		—
配当性向	98.6%		37.0%		—

# 業績推移① 売上高・販売台数等



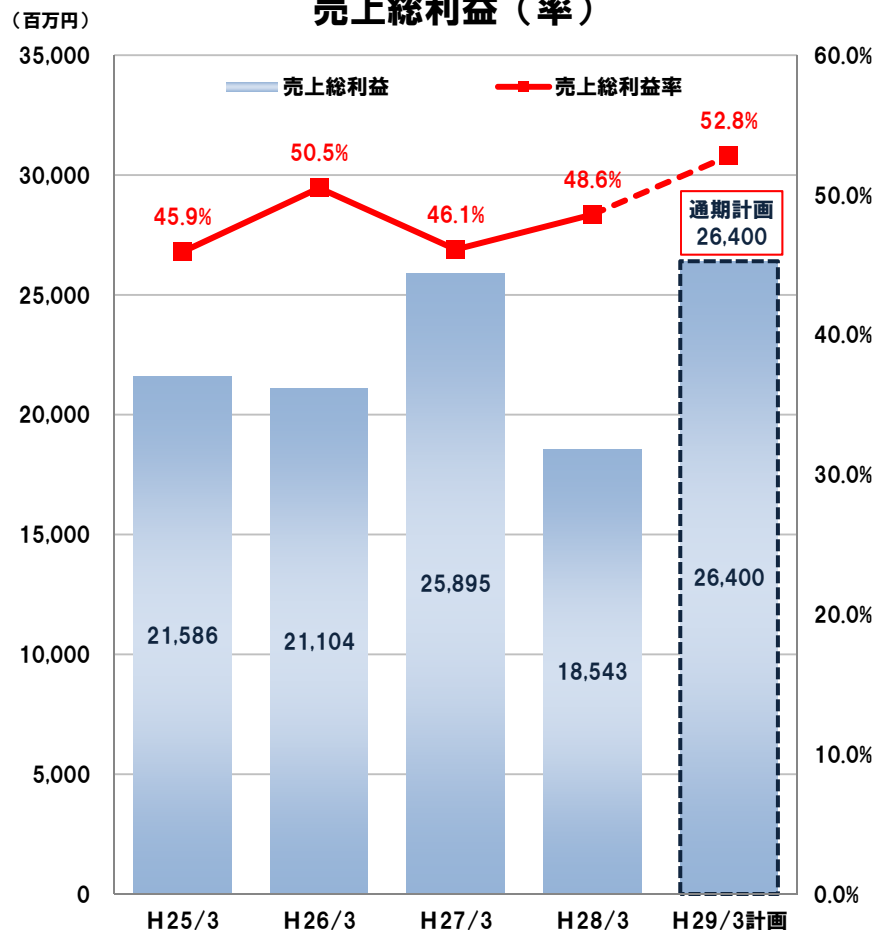
	H25/3	H26/3	H27/3	H28/3	H29/3計画
パチンコ遊技機	7	7	8	10	8
パチスロ遊技機	3	2	2	2	2
投入機種数 計	10	9	10	12	10

※投入機種数は、新規タイトル数

# 業績推移② 売上総利益・販管費

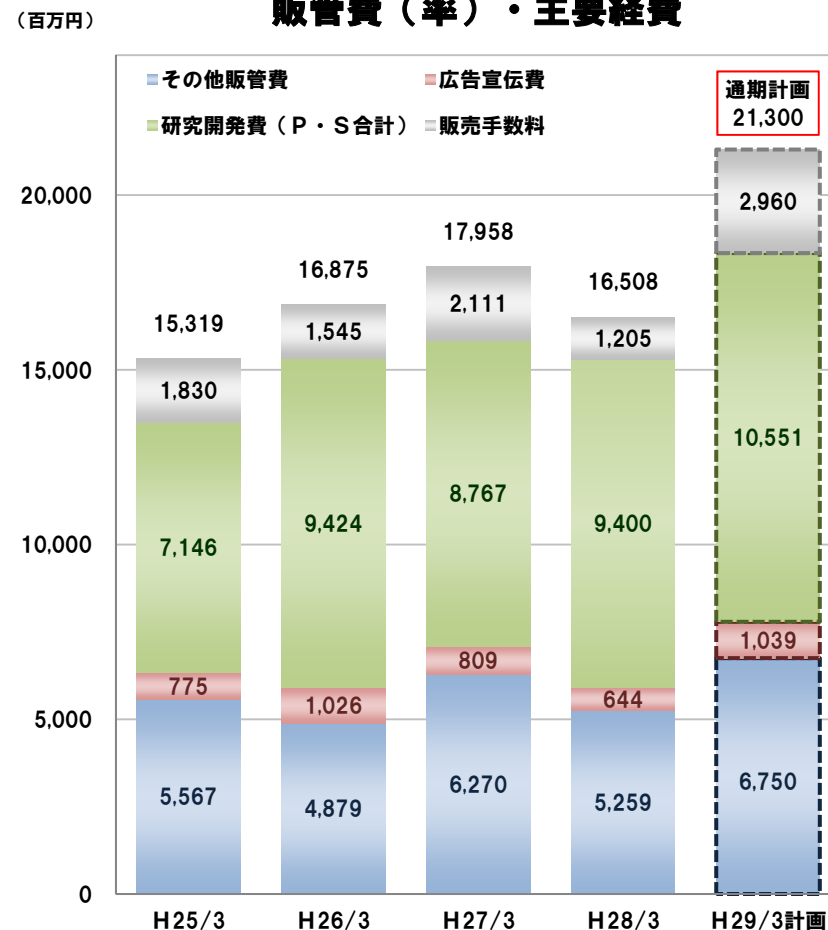


### 売上総利益（率）



	H25/3	H26/3	H27/3	H28/3	H29/3計画
営業人員	179名	181名	179名	180名	189名
開発人員	153名	159名	175名	189名	215名
その他	77名	86名	91名	89名	95名
全社人員	409名	426名	445名	458名	499名

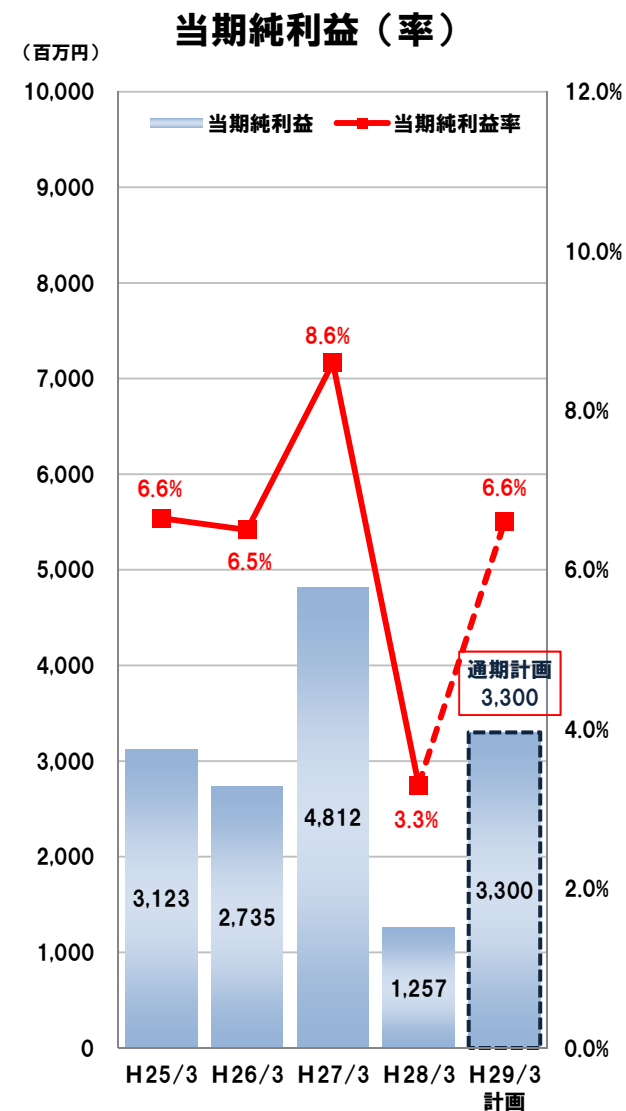
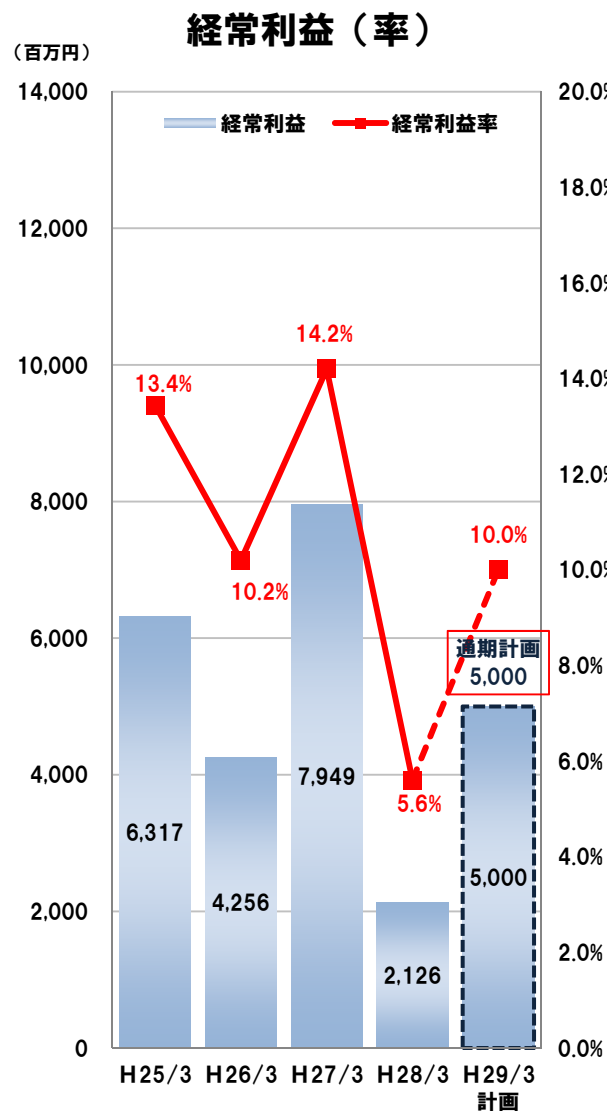
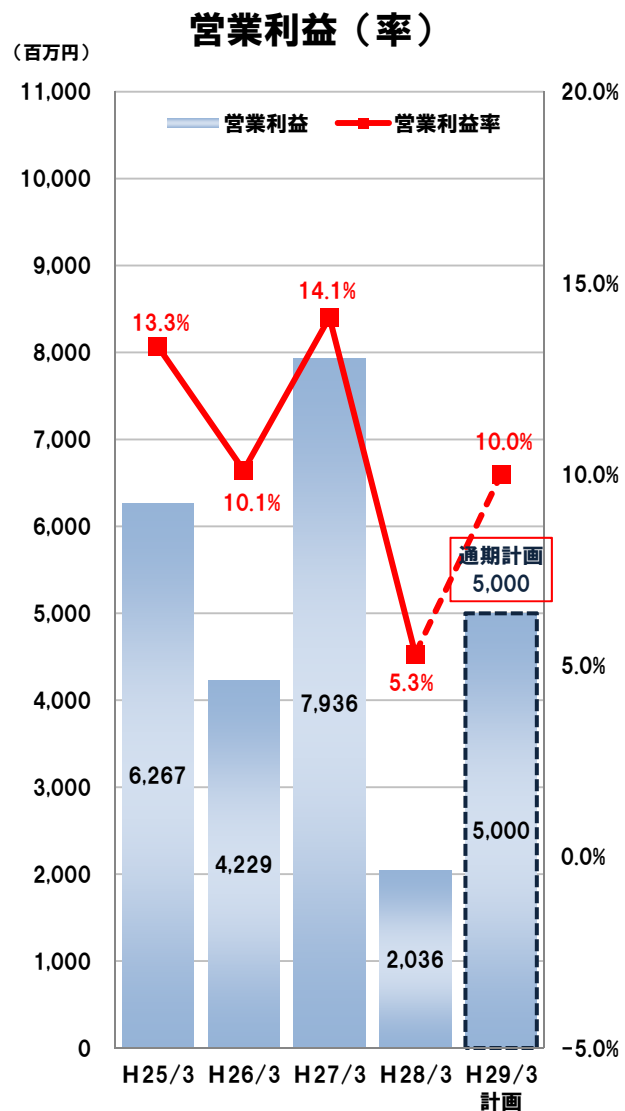
### 販管費（率）・主要経費



	H25/3	H26/3	H27/3	H28/3	H29/3計画
販管比率	32.6%	40.3%	32.0%	43.3%	42.6%
手数料率	3.9%	3.7%	3.8%	3.2%	5.9%
研究開発費率	15.2%	22.5%	15.6%	24.6%	21.1%
広告宣伝費率	1.6%	2.5%	1.4%	1.7%	2.0%

※各比率は、売上高に対する比率

# 業績推移③ 営業利益・経常利益・当期純利益

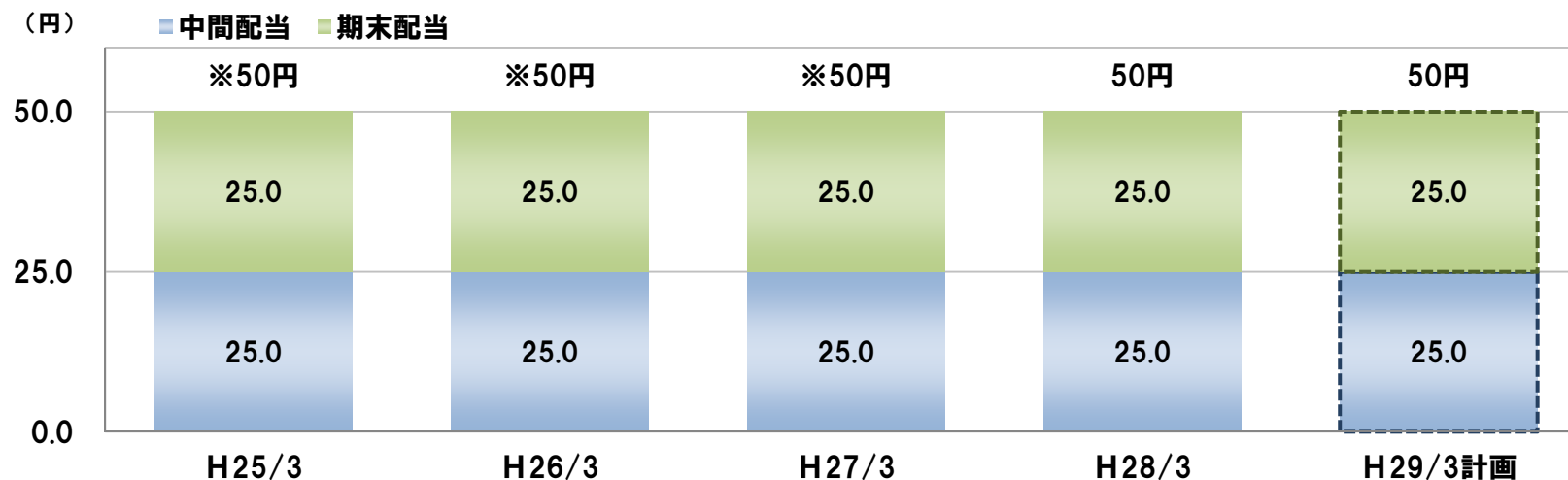


# 株主還元策について



## 配当政策・配当方針

- 継続した配当を基本方針とし、経営成績および配当性向等を総合的に勘案
- 平成29年3月期1株当たり配当金は、通期50円を予定



	H25/3	H26/3	H27/3	H28/3	H29/3計画
当期純利益(百万円)	3,123	2,735	4,812	1,237	3,300
配当性向	39.9%	45.4%	25.3%	98.6%	37.0%
純資産配当率	2.8%	2.7%	2.5%	2.4%	—

(※) 上記数値につきましては、株式の分割を考慮した数値で算出しております。

## 参考資料



本体外観

社名	株式会社 藤商事
設立	昭和41年10月
代表者名	代表取締役社長 井上 孝司
資本金	32億81百万円 (平成28年3月31日現在)
売上高	381億円 (平成28年3月期)
従業員数	458名 (平成28年3月31日現在)
事業内容	パチンコ遊技機、パチスロ遊技機の 開発・製造・販売



## 当社のコーポレートスローガン

<ヒト味違う発想で一步先の“オモシロさ”を目指して!>

- 「ヒト味」は「人間味」を表しており、パチンコ・パチスロに情熱を持ち続け、可能性のある限り挑戦するモノづくりに取り組む姿勢を表しております。
- このコーポレートスローガンを「ヒト味違う“オモシロ”さ!」と短縮し、企業ロゴに表示しております。
- 企業ロゴの左側には、藤の花とイニシャル（F）をモチーフに、円の集合体を形成しております。これは、人間の持つ個々の特異性が融和されることによって生まれる人と人とのふれあいの大切さを表しております。

# 主な会社沿革



- 1966年10月    **じゃん球遊技機の開発、製造および貸付を目的とし、株式会社藤商事を設立**
- 1973年10月    **アレンジボール遊技機の製造および販売を開始**
- 1989年11月    **パチンコ遊技機事業に参入**  
**パチンコ遊技機の製造および販売を開始**
- 2003年 9月    **パチスロ遊技機事業に参入**  
**パチスロ遊技機の製造および販売を開始**
- 2007年 2月    **ジャスダック証券取引所に上場（2007年11月 J-Stock銘柄に選定）**
- 2010年 4月    **ジャスダック証券取引所と大阪証券取引所の合併に伴い、**  
**大阪証券取引所 J A S D A Q 市場に上場**
- 2013年 3月    **サン電子株式会社と資本・業務提携契約を締結**
- 2013年 7月    **東京証券取引所と大阪証券取引所の合併に伴い、**  
**東京証券取引所 J A S D A Q（スタンダード）に上場**
- 2014年 3月    **東京証券取引所 J A S D A Q（スタンダード）にて貸借銘柄に選定**



# 地域展開の状況（平成28年3月31日現在）



**本社** : 大 阪（中央区）  
**営業拠点数** : 全国19拠点（6支店・13営業所）  
**製造拠点** : 名古屋（愛知県一宮市）  
**開発拠点** : 名古屋（愛知県一宮市）  
           東 京（千代田区）



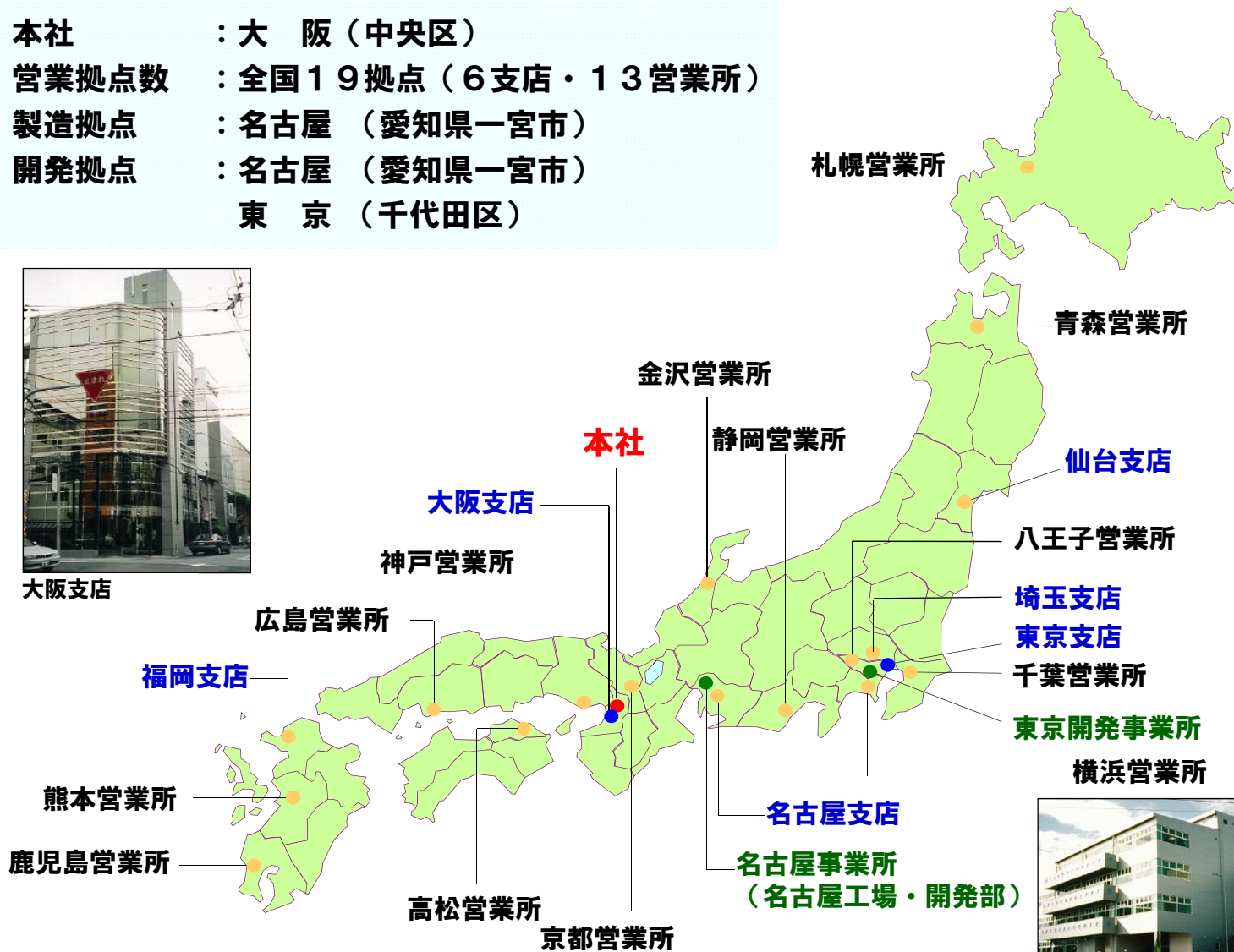
大阪支店

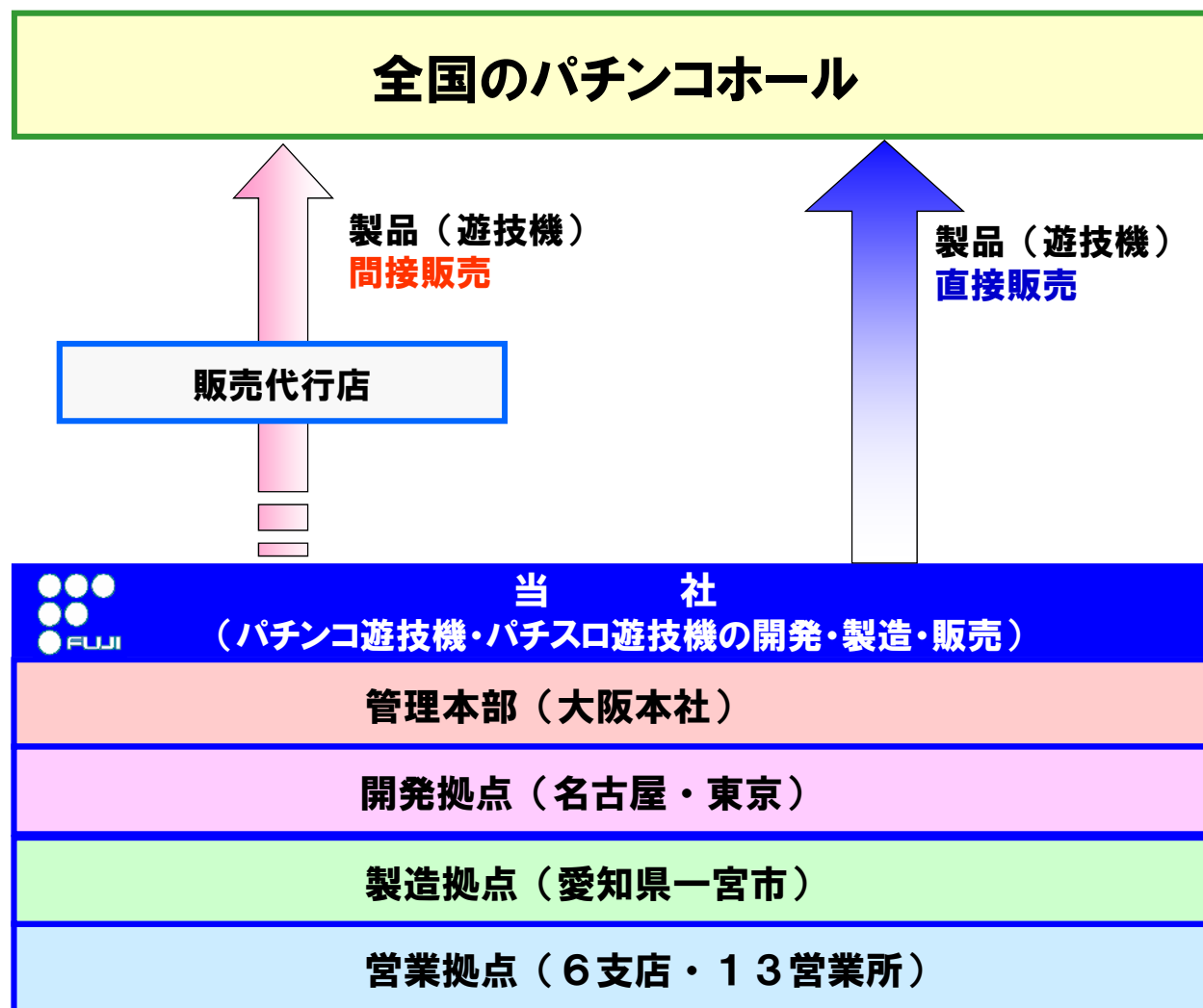


東京支店



名古屋事業所





(株) J F J (非連結子会社) (株) サンタエンタテイメント (持分法非適用関連会社)

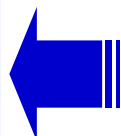
## <本体販売とパネル販売>



<本体販売>

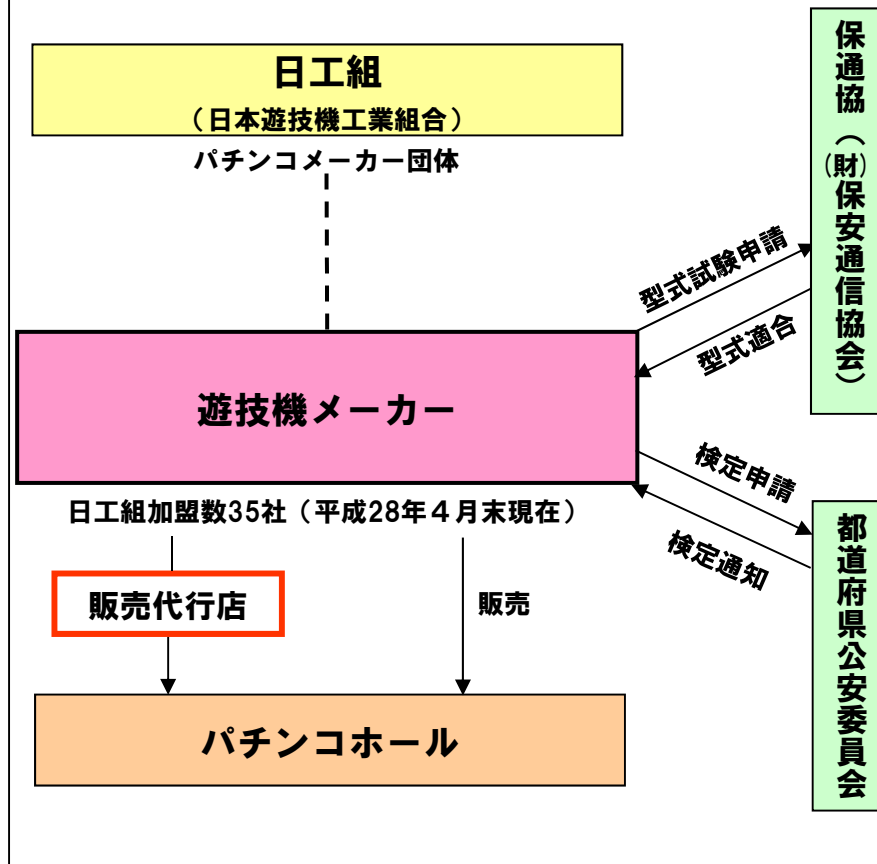


<パネル販売>



※外枠(本体)は一度購入すれば以後の機種では、盤面(パネル)のみ入替を行うことにより、継続して使用可能。(枠が同一モデル機種の場合)枠をモデルチェンジした最初の機種は、全て枠付きでの販売となります。

## <業界関係図>



## ■ お問い合わせ先

**株式会社 藤商事 経営企画本部 広報・IR 室**

TEL:06-6949-0323 FAX:06-6949-3174

- 本資料は、当社の事業内容等をご説明するために、現時点で入手できる情報に基づき作成したものです。本資料を作成するに当たっては、正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害・問題等に関しては、当社は一切責任を負うものではありませんので、ご了承下さい。
- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、遊技機の型式試験の適合状況をはじめ、様々な要因により大きく異なる可能性があります。投資を行う際には、投資家ご自身のご判断でなさるようお願いいたします。